



第44号

木曾川町連区



地域づくり協議会だより

【発行日】令和2年8月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会
〒木曾川町内割田一の通り27(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005
【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp
【ホームページ】http://138kisogawa.org 木曾川町連区で検索してね♪



↑
こちらからどうぞ

会長あいさつ

木曾川町連区地域づくり協議会会長

日比野 洋一

日頃は地域づくり協議会の活動に対し、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。引き続き会長職をお引き受けすることになりました。微力ではありますが、精一杯務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

さて、令和2年度の地域づくり協議会の諸活動は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月の総会が開催できず、会則10条3項を適用した役員会も書面表決での議案承認という異例のスタートとなりました。そして、3密（密集、密閉、密接）の回避が難しい行事の開催やコロナ禍への対応など事業計画の見直しが必要となり、6月の役員会で検討しました。その結果、盆踊りのつどい、敬老会、市民体育祭、文化・芸能祭、自主防災訓練及び雀のお宿・野外音楽祭などの事業を中止することを決定しました。地域の皆様の健康・安全を最優先することを考えての判断です。参加を楽しみにされていた皆様には大変残念ですがご理解ください。しかし、各部会を中心に企画・推進する事業としての認知症サポーター養成講座、HUG防災教室などの各種講座は、時期・方法など感染防止対策を十分講じた上で、開催する方向で進めています。



一方、市の特別交付金をもとに進めてきた3年計画の提案事業については、

①安全で安心なまちづくり事業

防犯カメラの設置、避難所マップの作成、防災倉庫に非常時用備蓄品を整備、
「お天気講座」の開催（11月から3回実施予定）

②思いやりのあるまちづくり事業

各小学校と連携し、通学児童の見守り活動への支援などに引き続き取り組みます。

今年度は、大幅な活動自粛が求められる中、各種の事業やイベントの在り方を見直すよい機会と捉え、皆さんと一緒に知恵を出し合い取り組んでいきたいと考えています。そして、限られた場しかありませんが、それぞれの活動を通して地域の絆づくりを強め、互いに助け合って安心して生活できる木曾川町連区を目指したいと思います。連区町会長協議会や関係諸団体との連携を一層密にしながら、地域づくり協議会の新しい役員の方々と力を合わせ、諸活動の推進に尽力します。今後も皆様の一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

連区長あいさつ

木曾川町連区長 宮口 勉

令和二年度連区長を拝命し「責任」と「希望」を強く感じております。国井前連区長と副連区長の立場で2年間活動してまいりました。国井さんが推進されました「大地震・洪水等の災害に対する備え」、「高齢化に伴う地域での助け合い」という課題につきましては、継続して推進してまいりたいと思います。



木曾川町連区には5つの主要な活動母体があります。

①地域づくり協議会 ②木曾川公民館 ③民生児童委員協議会 ④社会福祉協議会木曾川町支会 それと⑤木曾川連区です。他にも多くの団体が活動されています。私が担当する木曾川連区（④も担当）は、各活動母体と密接に連携する必要がありますので、精力的に「考動」（考えて行動）したいと考えています。

私は常日頃考えている事が2つあります。

ひとつは「死亡事故ゼロの町づくり」、もうひとつは「孤独死ゼロの町づくり」です。私が副会長を務める大畑町内の老人会が行っている登校時の学童見守りや、一人暮らしの高齢者のお手伝いをするちょこっとボランティア活動を通じて感じている事です。木曾川町連区の皆さんと思いを共有出来れば、こんなに嬉しい事はないと思っています。

今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、当初計画しました事業が殆ど中止になりました。それでも連区三役の皆さんと知恵を出し合い、3密対策が可能な事業（講演会）を計画してまいります。木曾川連区にお住まいの皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染防止に充分配慮されお過ごし下さい。

これから一年間各小学校区から選任されました連区三役の皆さんと共に、精一杯の努力をしてまいりますので、皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

令和2年度 木曾川町地域づくり協議会役員



令和2年度 木曾川町連区地域づくり協議会 役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
会長	日比野洋一	監事	千石 明	理事	太田 孝子
副会長	宮口 勉	安全安心部会長	中井 義也	理事	川合 俊雄
副会長	宇佐見正重	活気部会長	平林 哲也	理事	佐塚 篤
顧問	国井 紀元	思いやり部会長	中村 隆	理事	虫鹿 典子
事務局長	町田 啓史	女性部会長	宮崎 初美	理事	脇田 兼康
会計	小河 元男	広報部会長	菱川 陽子		

令和2年度 木曾川町連区地域づくり協議会予算（単位：円）

歳 出			
区 分	予 算 額	備 考	
会務費	1,127,000		
内 訳	事務費	150,000	消耗品等
	会議費	100,000	総会、部会開催経費
	講習会費	120,000	HUG、認知症、徘徊訓練 自然・文化・歴史講習会
	事業費	647,000	着衣水泳、雀のお宿野外音楽祭、防犯カメラ
	備品購入費	110,000	
事業費	12,398,000		
内 訳	安全安心部会	1,632,000	交通安全会 572,000 防犯委員会 701,000 資源回収推進協議会 159,000 防災訓練 200,000
	活気部会	4,890,000	高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会 1,055,000 学校外活動推進委員会 237,000 公民館 2,647,000 健康づくり推進員連絡会 951,000
	思いやり部会	5,476,000	社会福祉協議会支会（見守り） 70,000 社会福祉協議会支会（敬老会） 5,406,000
	広報部会	400,000	400,000
予備費	80,000	80,000	
計	13,605,000		

令和2年度 木曾川町連区提案事業特別会計予算（単位：円）

歳 出		
区 分	予 算 額	備 考
安全で安心なまちづくり事業	1,080,000	防災資器材の整備・防犯カメラの設置・お天気講座の開催
思いやりのあるまちづくり事業	10,000	通学児童見守り活動支援
計	1,090,000	

2020年（令和2年度） 月別事業計画

※主な新型コロナウイルス感染予防での中止事業

→ 盆踊りのつどい・敬老会・防災訓練・市民体育祭・文化祭・芸能祭・一豊まつり

月	事業内容	実施場所	部 会	備 考
4～9	新型コロナウイルス感染予防のため中止			
10	成人・高齢者学習事業 成人講座	木曾川公民館	活気	公民館
	家庭・青少年学習事業	木曾川公民館	活気	公民館
	女性学習事業 女性学級	木曾川公民館	活気	公民館
	木曾川中学校おやじの会事業 ペットボトルロケット作り	木曾川中学校	活気	学校外活動
	交通安全講習会	尾西信金ホール	安全安心	交通安全会
	防犯講習会	尾西信金ホール	安全安心	防犯委員会
	教養講座	木曾川公民館	活気	高齢者の生きがいと健康づくり
11	防災講習会	尾西信金ホール	安全安心	連区町会長協議会
	地域支え合い研修事業	木曾川公民館	思いやり	社会福祉協議会
	家庭・青少年学習事業	木曾川公民館	活気	公民館
	成人・高齢者学習事業 成人講座	木曾川公民館	活気	公民館
	女性学習事業 女性学級	木曾川公民館	活気	公民館
	老人クラブ事業 三世交代交流スポーツ大会	木曾川体育館	活気	学校外活動
	教養講座	木曾川公民館	活気	高齢者の生きがいと健康づくり
お天気講座(提案事業)	木曾川公民館	活気	地域づくり協議会	
12	地域安全運動期間中における啓発活動	大型ショッピングセンター等	安全安心	防犯委員会
	街頭監視活動	連区内主要交差点	安全安心	交通安全会
	成人・高齢者学習事業 成人講座	木曾川公民館	活気	公民館
	女性学習事業 女性学級	木曾川公民館	活気	公民館
	木曾川町連区内小学校PTA合同事業 折り紙の干支作り	木曾川公民館	活気	学校外活動
	成人・高齢者学習事業 世代交流グランド・ゴルフ大会	木曾川西小学校	活気	公民館
1	成人・高齢者学習事業 成人講座	木曾川公民館	活気	公民館
	地域支え合い研修事業	木曾川公民館	思いやり	社会福祉協議会
	お天気講座(提案事業)	木曾川公民館	活気	地域づくり協議会
2	認知症講習会	木曾川公民館	女性	地域づくり協議会
	HUG講習会	木曾川公民館	安全安心	地域づくり協議会
3	お天気講座(提案事業)	木曾川公民館	活気	地域づくり協議会
毎月	資源回収	各町内	安全安心	資源回収推進委員会
	交通安全街頭指導	連区内	安全安心	交通安全会
	防犯パトロール	連区内	安全安心	防犯委員会
	広報誌発行	全戸配布	広報部会	年5回発行予定

令和2年7月1日現在

注：この表に記載してある諸事業は、新型コロナウイルスの感染状況等によっては中止、変更となることもあります